

平成22年度しまね地球温暖化防止活動大賞受賞者一覧

【事業者部門】

賞	大 賞	優 秀 賞	優 秀 賞
事業者名	合資会社一文字家	協同組合横田ショッピングセンター	アースサポート株式会社
代 表 者	代表社員 景山 直観	代表理事 森田 俊寛	代表取締役 尾崎 俊也
所 在 地	松江市平成町182-19	仁多郡奥出雲町下横田84	松江市八幡町882-2
設立年月	明治34年3月	昭和46年1月	昭和38年2月
活動の概要	<p>「身近にできることから始めよう」と社内決議し、「HACCP手法支援法の導入」、「ユニバーサルデザイン弁当容器開発導入」、そして地球環境保全運動の一環として「食のリサイクル活動」を実施している。</p> <p>その内容は、毎日、学校給食などから排出される残さ500kg/日をたい肥化し、野菜を生産し、その野菜を一文字家が購入するという流れを、生産者や他社とともに構築し、日常的に無理のない循環生産・消費活動を行うものである。</p> <p>また、その他のリサイクル活動として、①天ぷらの廃油リサイクル、②燃えないゴミの燃料リサイクル、③段ボール、ペーパー類の再生紙へのリサイクル、④魚容器などの発砲スチロールの成型資材へのリサイクルなど、エコ活動を行っている。</p>	<p>「地域のエコの拠点になろう」を合い言葉に、島根県地球温暖化対策協議会事業者部会の省エネ診断を平成20年に受診し、それを受けて空調設備、食品ショーケース、照明等の省エネ設備改善事業化に着手した。</p> <p>その成果としてCO2（改善前年間660トンのうち年間234トン）及びエネルギーコスト（年間800万円）の大幅削減を実現した。</p> <p>惣菜・飲食部門から廃棄される野菜くずなどをたい肥化し、それによって育てた作物を再び店頭販売する循環リサイクル化事業など、従来から環境に優しい店舗運営を推進している。</p> <p>毎月「省エネ運用会議」を開催し、エネルギー使用量、CO2排出削減量実績について検証して対策を協議し、組合員、社員、従業員にフィードバックすることで、店舗全体で環境配慮型経営を推進している。</p>	<p>廃棄物処理業を営む中で、食品残さを始めとした様々な廃棄物リサイクルの推進や、省エネの取組を行っている。</p> <p>可燃物として焼却処分されていた食品残さのリサイクルを平成19年10月にスタートし、その量は平成22年7月末までに2,789トンとなり、CO2排出量の削減を実現した。</p> <p>この食品残さのリサイクルにより、平成22年4月、他社とともに食品リサイクル法に基づく「再生利用事業計画（リサイクル・ループ）」の認定を受けている。</p> <p>また、食品廃棄物を原料とした有機物の液体肥料で、全国で6社目、廃棄物業界では初となるカーボンフットプリントマークの付与認定を受けている。</p> <p>さらに、本社事務所全ての照明機器をLEDに取り替え、廃棄物収集運搬車両から排出されるCO2を植林事業と排出権の購入によりオフセットする取組も行っている。</p>